

# 平成30年2月 全国百貨店売上高概況

平成30年3月22日

## I. 概況

1. 売上高総額	4,290億円余
2. 前年同月比	-0.9% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	80社 225店 (平成30年1月対比-1店)
4. 総店舗面積	5,694,570㎡ (前年同月比:-3.1%)
5. 総従業員数	70,219人 (前年同月比:-4.2%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	7-9月 1.2%、8-10月 1.2%、9-11月 1.4%、 10-12月 -0.1%、11-1月 0.1%、12-2月 -0.9%

[参考] 平成29年2月の売上高増減率は-1.7% (店舗数調整後)

### 【特徴】

2月は、高額消費とインバウンドが引き続き堅調に推移した一方、降雪・寒波等の天候要因で入店客数や春物の季節商材に影響が出たことや、株価乱調による景気回復の一服感などから、差し引き0.9%減と前年実績を僅かに下回り3か月連続マイナスとなった。

顧客別では、国内市場(シェア93.5%/2.8%減)は前年に達しなかったものの、中華圏の春節休暇で賑わいを見せたインバウンド(シェア6.5%/38.7%増)は、約280億円と前月(1月/約284億円)に次ぐ過去2番目の売上を記録した。

地区別では、10都市が7か月連続プラスの0.2%増。引き続き富裕層消費とインバウンド効果の高い5地区(札幌、東京、横浜、大阪、福岡)で前年をクリアした。地方(10都市以外の地区)は3.5%減(10か月連続マイナス)であったが、関東地区(3.3%増)で3か月ぶりにプラスし、前月から1.1ポイント改善した。

商品別では、化粧品(6.2%増)と高額商材(美術・宝飾・貴金属/3.8%増)を含む雑貨が4.0%増と15か月連続プラス。輸入特選雑貨やアクセサリが好調だった身のまわり品は4.6%増と前月の伸び率から3.8ポイント上昇し、2か月連続でプラスした。

衣料品は寒波の影響で防寒アイテムが好調だった半面、春物の動きが鈍く3.5%減と3か月連続マイナス。食料品は、バレンタイン商戦で盛り上がりを見せた店舗があったものの、天候不順による入店客数減や生鮮の価格高騰が影響して3.2%減となった。

### 【要因】

(1) 天候：気象庁発表「2月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇強い寒気に覆われることが多かったため、全国的に平均気温が低かった。日本海側では上旬後半と中旬前半を中心に、発達した雪雲が日本海から盛んに流れ込み、北陸地方を中心に記録的な大雪となった所があった。

(2) 営業日数増減 27.7日(前年同月比 ±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日( " +1日/土曜1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数130店舗)

①増加した：36店、②変化なし：33店、③減少した：61店

(5) 2月歳時記(バレンタインデー、節分)の売上(同上/有効回答数102店舗)

①増加した：26店、②変化なし：50店、③減少した：26店

# 全国百貨店 売上高速報 2018年02月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>全国</b>	<b>429,077,092</b>	<b>100.0</b>	<b>-0.9 ( -1.1)</b>
<b>10都市</b>	<b>299,735,149</b>	<b>69.9</b>	<b>0.2 ( 1.1)</b>
札幌	12,500,089	2.9	5.2
仙台	5,181,996	1.2	-2.8 ( -9.3)
東京	117,499,202	27.4	0.6
横浜	24,925,162	5.8	0.5
名古屋	27,386,190	6.4	-0.6
京都	17,199,216	4.0	-1.8
大阪	60,683,441	14.1	5.2
神戸	10,552,388	2.5	-30.7 ( -4.3)
広島	8,491,500	2.0	-4.8
福岡	15,315,965	3.6	5.0
<b>10都市以外の地区</b>	<b>129,341,943</b>	<b>30.1</b>	<b>-3.5 ( -5.7)</b>
北海道	1,227,551	0.3	-14.3
東北	6,197,442	1.4	-9.3 ( -12.0)
関東	59,517,643	13.9	3.3 ( -3.9)
中部	10,110,365	2.4	-4.7
近畿	16,896,615	3.9	-19.5 ( -12.6)
中国	9,211,078	2.1	-5.3
四国	6,602,866	1.5	-2.8
九州	19,578,383	4.6	-3.6

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>429,077,092</b>	<b>100.0</b>	<b>-0.9 ( -1.1)</b>
紳士服・洋品	24,501,035	5.7	-2.7 ( -4.0)
婦人服・洋品	76,348,494	17.8	-3.2 ( -3.8)
子供服・洋品	9,850,821	2.3	-1.0 ( -1.0)
その他衣料品	8,265,421	1.9	-10.2 ( -11.4)
<b>衣 料 品</b>	<b>118,965,771</b>	<b>27.7</b>	<b>-3.5 ( -4.2)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>56,016,221</b>	<b>13.1</b>	<b>4.6 ( 3.7)</b>
化粧品	41,357,837	9.6	6.2 ( 6.6)
美術・宝飾・貴金属	25,996,006	6.1	3.8 ( 2.9)
その他雑貨	16,832,269	3.9	-0.8 ( 1.5)
<b>雑 貨</b>	<b>84,186,112</b>	<b>19.6</b>	<b>4.0 ( 4.4)</b>
家 具	4,616,417	1.1	-5.4 ( -6.8)
家 電	1,562,921	0.4	33.8 ( 33.8)
その他家庭用品	11,889,815	2.8	-5.6 ( -7.2)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>18,069,153</b>	<b>4.2</b>	<b>-3.1 ( -4.5)</b>
生 鮮 食 品	20,341,853	4.7	-2.7 ( -1.9)
菓 子	48,618,228	11.3	-3.1 ( -2.2)
惣 菜	24,738,066	5.8	-2.6 ( -1.7)
その他食料品	32,875,481	7.7	-4.1 ( -4.2)
<b>食 料 品</b>	<b>126,573,628</b>	<b>29.5</b>	<b>-3.2 ( -2.6)</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>11,171,823</b>	<b>2.6</b>	<b>-1.9 ( -1.5)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>4,585,804</b>	<b>1.1</b>	<b>-3.5 ( -3.6)</b>
<b>そ の 他</b>	<b>9,508,580</b>	<b>2.2</b>	<b>-3.0 ( -3.3)</b>
<b>商 品 券</b>	<b>7,430,558</b>	<b>1.7</b>	<b>-3.4 ( -4.1)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	0.2% (店舗数調整後/7か月連続プラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	-3.5% (店舗数調整後/10か月連続マイナス)

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>0.2</b>	<b>0.2</b>	<b>7か月連続プラス</b>
札幌	5.2	0.1	2か月ぶりプラス
仙台	-2.8	0.0	2か月ぶりマイナス
東京	0.6	0.2	2か月ぶりプラス
横浜	0.5	0.0	7か月連続プラス
名古屋	-0.6	0.0	2か月ぶりマイナス
京都	-1.8	-0.1	3か月連続マイナス
大阪	5.2	0.7	14か月連続プラス
神戸	-30.7	-0.8	6か月連続マイナス
広島	-4.8	-0.1	17か月連続マイナス
福岡	5.0	0.2	7か月連続プラス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>-3.5</b>	<b>-1.1</b>	<b>10か月連続マイナス</b>
北海道	-14.3	0.0	17か月連続マイナス*
東北	-9.3	-0.1	6か月連続マイナス*
関東	3.3	0.4	3か月ぶりプラス
中部	-4.7	-0.1	9か月連続マイナス
近畿	-19.5	-0.9	12か月連続マイナス
中国	-5.3	-0.1	3か月連続マイナス*
四国	-2.8	0.0	3か月連続マイナス
九州	-3.6	-0.2	3か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が15か月連続、身のまわり品が2か月連続のプラスとなった。また家庭用品が26か月連続、食料品が9か月連続、衣料品が3か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が35か月連続、美術・宝飾・貴金属が11か月連続、家電が2か月ぶりのプラスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-0.9</b>	<b>-</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
紳士服・洋品	-2.7	-0.2	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-3.2	-0.6	3か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.0	0.0	5か月連続マイナス
その他衣料品	-10.2	-0.2	28か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-3.5</b>	<b>-1.0</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>4.6</b>	<b>0.6</b>	<b>2か月連続プラス</b>
化粧品	6.2	0.6	35か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	3.8	0.2	11か月連続プラス*
その他雑貨	-0.8	0.0	10か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>4.0</b>	<b>0.7</b>	<b>15か月連続プラス</b>
家具	-5.4	-0.1	5か月連続マイナス
家電	33.8	0.1	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-5.6	-0.2	23か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-3.1</b>	<b>-0.1</b>	<b>26か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-2.7	-0.1	47か月連続マイナス*
菓子	-3.1	-0.4	3か月連続マイナス*
惣菜	-2.6	-0.2	5か月連続マイナス*
その他食料品	-4.1	-0.3	6か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>-3.2</b>	<b>-1.0</b>	<b>9か月連続マイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-1.9</b>	<b>-0.1</b>	<b>10か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-3.5</b>	<b>0.0</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
<b>その他</b>	<b>-3.0</b>	<b>-0.1</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-3.4</b>	<b>-0.1</b>	<b>84か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>